

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【公開番号】特開 2001-126639 (P2001-126639A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 11 日 (2001.5.11)
 【出願番号】特願 2000-258364 (P2000-258364)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 29/76 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 29/76 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1 対の水平偏向コイルと 1 対の垂直偏向コイルとを含み、垂直偏向コイルはサドル形をなしており、各コイルは陰極線管のスクリーン側に位置する前部の束と電子銃側に位置する後部の束とを含み、前記束は前記陰極線管の主軸 Z にほぼ平行な方向に延びる側部導体ハーネスによって互いに接続されており、前記前部の束と後部の束および前記側部ハーネスは導体の存在しない窓の形状を特定しており、

前記前部の束に近い領域では窓は 38°以上の半径方向開口角 にわたって広がっている、陰極線管用の電磁偏向装置。

【請求項 2】 前部の束に近い領域では、窓は 38°乃至 50°の半径方向開口角にわたって広がっている、請求項 1 記載の電磁偏向装置。

【請求項 3】 後部の束に近い領域では、側部ハーネス導体の少なくとも 95% が 80°以下の開口角 θ_m 内に存在する、請求項 1 または 2 に記載の偏向装置。

【請求項 4】 1 対の水平偏向コイルと 1 対の垂直偏向コイルとを含み、垂直偏向コイルはサドル形をなしており、各コイルは陰極線管のスクリーン側に位置する前部の束と電子銃側に位置する後部の束とを含み、前記束は側部導体ハーネスによって互いに接続されており、前記前部の束と後部の束および前記側部ハーネスは導体の存在しない窓の形状を特定しており、

前部の束の近くで且つ前記窓の前方部で、フレーム・ポテンシャルの第 7 高調波と第 9 高調波は反対符号であり、また第 7 高調波の振幅は第 9 高調波の振幅にほぼ等しいかまたはそれ以下である、陰極線管用の電磁偏向装置。

【請求項 5】 前記請求項 1 乃至 4 の何れか 1 つによる偏向装置を含む、陰極線管。